

民俗文化財（無形）

八街市文違麦つき踊り

所在地 文違区

文違三ツ又地区で、麦を精白する苦しい作業の中から生まれた。先祖の供養と娯楽を兼ね、明治20年頃からお盆などに踊られてきた。



八街市榎戸獅子舞

所在地 榎戸区

寛永(1624~1643)年間、佐倉城主の土井利勝が佐倉から導入したと伝わる。祭礼や疫病が流行る時期に村内を巡回して舞ったという。

